

保証書

品名	車両バッテリー接続ケーブルセット
型名	<input type="checkbox"/> RSP068 <input type="checkbox"/> RSP071 <input type="checkbox"/> RSP072
ご購入日	西暦 年 月 日

本書は、本書記載の内容(左記記載)で無償修理を行うことをお約束するものです。お買上の日から下記期間中に故障が発生した場合は、お客様欄にご記入の上、修理をお申し付けください。

販売店記入欄	
保証期間	ご購入日より 6ヵ月
販売店名	
お客様記入欄	
お客様名	
ご住所 〒	TEL
故障内容	

当製品に関するお問い合わせは下記カスタマーサポートまで
お問合せ先: カスタマーサポート (平日10時00分~17時00分)
ホームページ: www.rs-taichi.com



0120-22-3403

taichi@rs-taichi.co.jp

WEBからのお問い合わせ



発売元: 株式会社アールエスタイチ 〒577-0063 大阪府東大阪市川俣1-1-41ルクスビル7F



e-HEAT 車両バッテリー接続ケーブルセット 取扱説明書

ご使用前に必ずご確認ください

- 使用する前に必ずお読みいただき、内容を理解したうえで正しくお使いください。
- この取扱説明書はいつでも取り出して読めるように大切に保管してください。
- 本製品を第三者に譲渡する場合は、必ずこの取扱説明書も併せてお渡しください。
- この取扱説明書については、将来予告なく変更することがあります。
- 製品改良のため、予告なく外観または仕様の一部を変更することがあります。
- 本製品の取り付けにはモーターサイクルの整備上の基本的な技能、知識等を有する人(販売店、整備資格保有の方)が取り付けを行ってください。
- 本製品は DC12V のモーターサイクル専用ですが、すべての車種、排気量に対応しておりません。車両によっては発電量不足のため正常に動作しない、または車両バッテリーの充電が十分に行われない結果バッテリーの過放電(バッテリー上がり)の原因になります。
- 本製品と車両バッテリーを接続して使用する場合には車両バッテリーの過放電(バッテリー上がり)、車両故障を防ぐため、使用前使用後ならびに保管中には必ず電圧をチェックしてください。
- 取扱説明書内の注意事項を守らずに使用した事による事故や損害について、弊社では一切の責任を負いません。

免責事項

- 火災、地震、風水害、落雷その他の天災地変、公害、塩害、ガス害(硫化ガスなど)、異常電圧などによる故障・損傷、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用による損害に関して、弊社は一切責任を負いません。
- 保証書に記載されている保証がすべてであり、この保証の外は、明示の保証、黙示の保証を含め、一切保証しません。○取扱説明書に基づく正しい使用方法によらず誤った使用による損害については当社は一切の責任を負いません。○これらの製品はモーターサイクル専用で設計されたもので、他のスポーツやアクティビティ、工業用にはご利用頂けません。○この取扱説明書の一部または全部を無断で複写することは、個人利用を除き禁止されています。また無断転載は固くお断りします。

この製品は e-HEAT 専用です

※2022年以前に発売のモデル、及びe-HEAT以外の製品には使用できません。

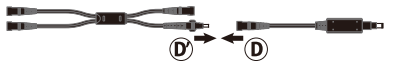
適合グループ	適合インナー
RST654、RST655、RST656、RST657	RSU637、RSU638

(2024.8現在)

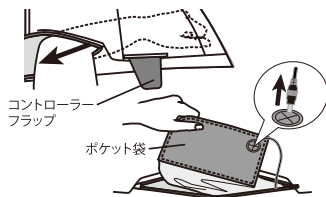
SK-1470

インナーとグローブ併用、もしくはグローブのみ接続する場合

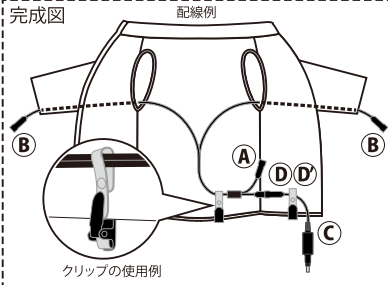
準備) Y ケーブルと I ケーブルを接続します



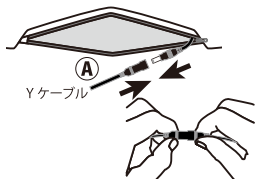
1) 左ポケット側バッテリープラグを取り出します
※グローブのみ接続する場合この作業は不要です。
作業3)に進みます。



裾ファスナーから手を入れ、左身頃の裏地を配線などに無理な力が加からないように注意しながら、引き出してください。ポケット袋の穴からバッテリープラグを引き抜いた後、内装は元に戻してください。

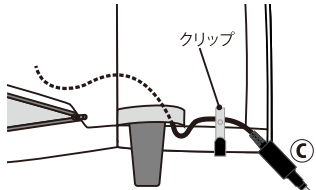


2) Y ケーブルを接続します



取り出したバッテリープラグを Y ケーブル ④と接続してください。※各プラグを脱着するには大きくひねる力を加えないようにご注意ください。

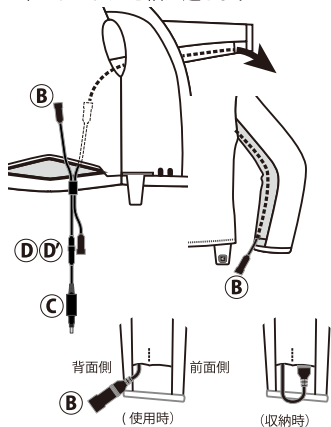
4) 電源プラグ(オス)を取り出します



コントローラー根元のベルクロを開き、電源プラグ③を取り出します。

クリップに通してインナーに固定してください。

3) Y ケーブルを袖に通します



内装裾のファスナーを開き、グローブ接続プラグ⑥を脇下から袖に通します。下袖のパネルを通し、袖口(背面側)の出口より取り出してください。左右とも同じ作業を行います。

無償修理規定

1. 正常な使用状態で保証期間内に製品が故障した場合には、本書に従い無償修理させていただきます。ご依頼時に本書(再発行しませんので、大切に保管してください)の提示・提出をお願いいたします。なお、受付窓口の種類は(1)お買い上げのお店(2)本書に記載のカスタマーサポートの2種類です。

2. 保証期間内の故障で次の場合には有料となります。

(1) 本書のご提示がない場合(2) 本書にお買い上げ日および販売店の記載がない場合または本書の記載を書き換えた場合(3) 保証期間中に発生した故障について、保証期間終了後に修理依頼された場合。(4) 使用上の誤り(取扱説明書、本体添付ラベル等の注意書きに従った正常な使用をしなかった場合を含む)による故障・損傷(5) 他の機器から受けた障害または不当な修理、改造修理、改造による故障。損傷(6) お買い上げ後の移設、輸送、落下などによる故障・損傷(7) 火災、地震、風水害、落雷その他の天災地変、公害、塩害、ガス害(硫化ガスなど)、異常電圧などによる故障・損傷(8) 競技や業務用など一般家庭用以外での使用による故障・損傷(9) 消耗・摩耗した部品の交換、汚損した部分の交換。(10) 使用または経年劣化による外観の傷、汚れ、変色した部分の修理、クリーニング、交換。

3. 故障の状況その他の事情により、修理に代えて製品交換をする場合がありますのでご了承ください。

4. 修理に際して再生部品・代替部品を使用する場合があります。また、修理により交換した部品は弊社が任意に回収のうえ適切に処理・処分させていただきます。

5. 本書に基づく無償修理(製品交換を含む)後の製品については、最初のご購入時の保証期間が適用されます。

6. 修理用部品が手配できない場合は修理をお断りする場合があります。

7. 予告なく保証、修理対応を終了することがあります。

8. 故障によりお買い上げの製品を使用できなかったことによる損害については補償いたしません。

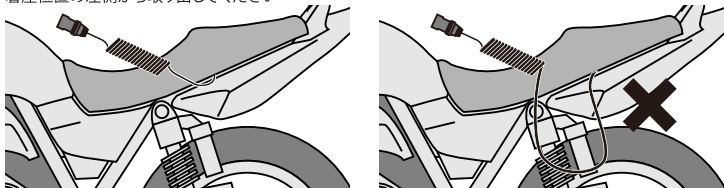
9. 本書は日本国内でのみ有効です。(This warranty is valid only in Japan)

※ 本書はお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

※ 保証期間後の修理については弊社カスタマーサポートまでご連絡ください。

電源プラグ(メス)の取り出し

着座位置の左側から取り出してください



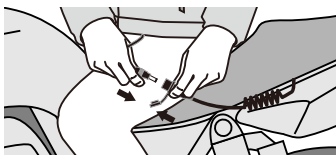
※イラストの装着例は一例です。お客様の車体に合わせて配線の取回しに無理な力がかけられないよう取付位置を調整して下さい。

⚠ シートとフレームに挟まれるなど、ケーブルに無理な力がかかっていないことを確認してください。ケーブル破断や内部断線の恐れがあります。

⚠ 乗車時にケーブルがたるみ過ぎないよう、運転の妨げにならない範囲で短く調整してください。長すぎるとタイヤやマフラーに接触、破損や事故につながる恐れがあります。

⚠ 下記作業後、実際に着用してケーブルに無理な力がかかっていないか確認してください。

乗降の際には



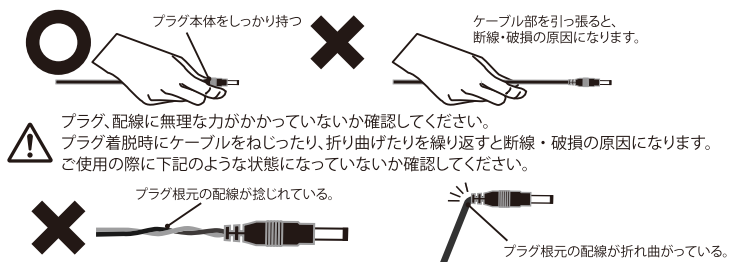
乗車時
車体にまたがり、電源プラグを接続してください。

降車時
電源プラグを外してから、降車してください。万が一抜き忘れた場合にはケーブルのカーブ部が伸びる仕組みになっていますが、無理に伸ばしたり繰り返し伸ばされると、戻りが悪くなります。

⚠ モーターサイクルを移動させる際には、電源プラグがドライブチェーンやホイール等に巻き込まれないように注意してください。降車直後など、熱いマフラーやエンジンにケーブルが接触しないように注意してください。

プラグの着脱時の注意点

⚠ 必ず接続プラグ本体を持って、着脱してください。
誤った使用による破損は保証対象外とさせていただきます。



⚠ プラグ、配線に無理な力がかかっていないか確認してください。
プラグ着脱時にケーブルをねじったり、折り曲げたりを繰り返すと断線・破損の原因になります。
ご使用の際に下記のような状態になっていないか確認してください。

⚠ プラグ根元の配線が捻れている。
⚠ プラグ根元の配線が折れ曲がっている。

⚠ 配線やプラグの状態は定期的に確認し、問題が見られた場合、即時使用を中止して下さい。

電源プラグ(オス)の準備と取り出し

Yケーブルの各部名称



(B) グローブ接続プラグ x 2

Iケーブルの各部名称



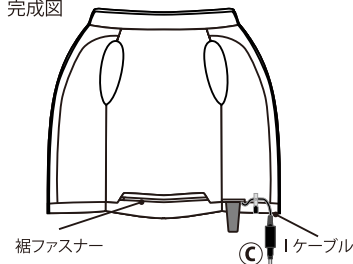
(C) 電源プラグ(オス)

インナーのみ接続する場合

準備) Iケーブルのみ使用します ※Yケーブルは使用しません



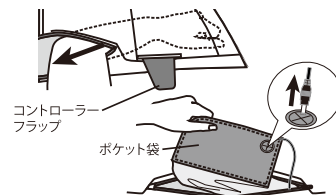
完成図



裾ファスナー

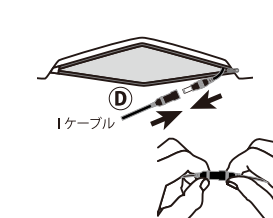
Iケーブル

1) 左ポケット側
バッテリープラグを取り出します

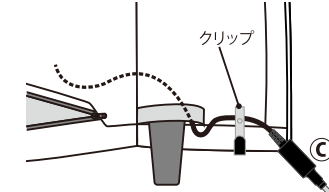


裾ファスナーから手を入れ、左身頃の裏地に配線などに無理な力がかけられないように注意しながら、引き出してください。ポケット袋の穴からバッテリープラグを引き抜いた後、内装は元に戻してください。

2) Iケーブルを接続します



Iケーブル



クリップ

コントローラー根元のベルクロを開き、電源プラグ(C)を取り出します。
クリップに通してインナーに固定してください。

取り出したバッテリープラグを I ケーブル (D) と接続してください。※各プラグを脱着する際には大きくひねる力を加えないようにご注意ください。

特長

- DC12Vのモーターサイクルにe-HEATインナーとグローブを接続するためのケーブルです。
- 走行中はバッテリー残量を気にせずe-HEATを使用できます。
- カールコードを採用しケーブルがかさばりません。

使用上の注意

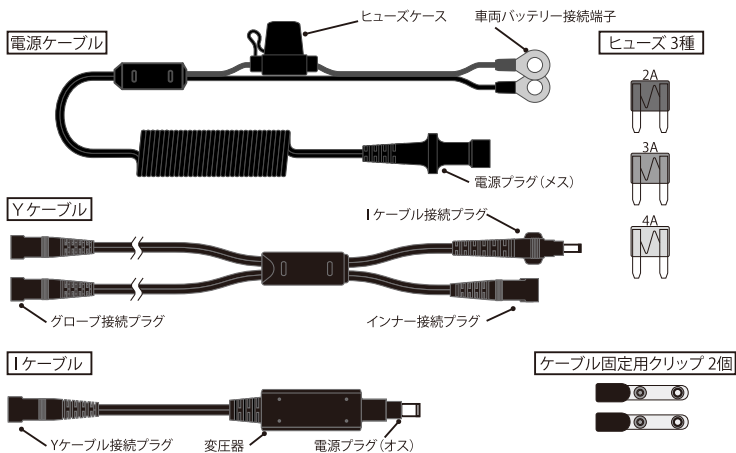
- 取り出したケーブルが車両のシートやフレームと干渉しないようにしてください。ケーブルの被膜が破損し、発熱、発火、故障の原因となります。
- 使用中は1ケーブルの変圧器が発熱します。衣服で覆い隠さず外気に触れるように着装してください。
- 使用時はケーブルの長さを調整してください。たるみ過ぎるとタイヤ、マフラーに干渉します。短すぎると乗降時や運転操作の妨げになります。
- 電源プラグへの接続は乗車して行ってください。降車は電源プラグを外してから行ってください。
- 車両を移動させる時、チェーンや車輪へのケーブルの巻き込みに注意してください。
- 使用時または降車時にケーブルがエンジンやマフラーに接触しないようにしてください。
- 車両のエンジン停止状態でインナー、グローブの使用を続けるとバッテリーあがりの原因となります。
- エンジン停止状態で電源ケーブルと1ケーブルを接続したまま長時間放置しないでください。変圧器は電源OFF時でも電力を消費するため定期的に電圧をチェック及びバッテリーメンテナンスを行ってください。(待機電流は約0.03mAです)

お手入れのしかた

- 接続する前に本製品の端子をペーパータオルまたは乾いた布でふいてください。
- 6ヶ月に1回は本製品の端子をペーパータオルまたは乾いた布でふいてください。
- 本製品の端子内にホコリやゴミが入った場合はエアダスターで掃除してください。

各部の名前

内容物に不足が無いが、作業前にご確認ください。

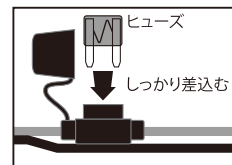


電源ケーブルの取り付け方法

ヒューズをヒューズケースに取り付けます

付属のヒューズをご使用になる製品に合わせてケーブルにセットします。

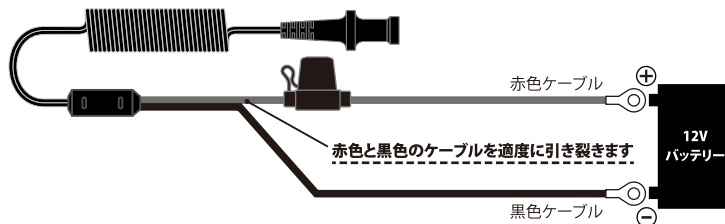
同時に使用する製品の組合せ方	ヒューズの色	ヒューズの数字
グローブのみ	紫色	3A
インナーのみ	灰色	2A
インナーとグローブ	ピンク色	4A



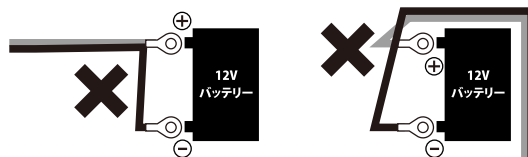
- ⚠ 間違ったヒューズを取り付けるとヒューズが切れ、製品が使用できなくなったり、また異常発熱を防ぐ保護機能が働かなくなります。
- ⚠ ヒューズをセットした後、キャップをしっかりしめます。水やほこりが入ると故障の原因となります。

12Vバッテリーに接続します

- ① 車両バッテリーのマイナス電極を外し絶縁状態にします
- ② ケーブルを適度に引き裂き、赤色ケーブルをプラス電極に車両ケーブルと規定トルクで共締めします
- ③ 黒色ケーブルをマイナス電極に①で外したケーブルと規定トルクで共締めします



- ⚠ マイナス電極を絶縁状態にしてから作業を行ってください。
- ⚠ プラス/マイナスの極性を間違えると故障の原因となります。
- ⚠ 電極に過度の力が加わると、電極の破損、短絡による車両故障の原因となります。
- ⊘ 接続後のケーブルはバッテリーの電極付近で交差ないようにしてください。
- ⊘ 振動によって被膜が傷つき短絡することで車両の火災または破損の原因となります。



警告

- 保管、使用中に発熱、変色、亀裂、変形、異臭などの異常がある場合は使用しない

発火、破裂、けがの原因となります。

- お風呂などの温度が高い場所では使用しない

発熱、感電、故障の原因となります。

- 踏みつけたり落下させたりして強い衝撃を与えない

変形して、発熱、発火、感電、故障などの原因となります。

- 可燃物や重いものを載せたり、毛布や座布団で覆ったり包んだりしない

発熱、発火、感電、故障の原因となります。

- 引火、爆発のおそれがある場所では使用しない

爆発や火災の原因となります。

- 濡れた手で使用しない

発熱、感電、故障などの原因となります。

- 取り付けのまま洗車しない

発熱、感電、故障などの原因となります。

- 使用後の接続端子を濡らさない

発熱、感電、故障などの原因となります。

- 本体に金属や鋭利なものを差し込まない

発熱、感電、故障などの原因となります。

- こども禁止

こどもや取り扱い方法、危険を十分理解していないものに触れさせない

- 乳幼児の手の届かないところで使用する、保管する

感電やけがの原因となります。

- 指定のヒューズサイズを取り付ける

指定以外のヒューズを取り付けるとヒューズが切れ動作しません。または定格を超える電流に対して保護機能が働かず、接続した製品が破損、発熱、発火、けが、やけどの原因となります

注意

- 取り付けには専門知識が必要

製品の取り付けには車両の整備上の基本的な技能、知識等を有する人(販売店、整備資格保有者)が取り付けを行うこと。

- 実施

- ・作業に入る前に必ず安全を確保した上で作業を行うこと。
- ・作業する際は、車両のメインキーを OFF にし、必ずバッテリーのマイナス端子を外すこと。
- ・取り付け前に、本製品の構成内容や仕様などに不備がないか、必ず確かめること。
- ・純正部品の取外し、取り付けについては車両純正のサービスマニュアルに従い正しく行うこと。
- ・取り付け後は走行前に各部異常がないか毎回点検を行うこと。
- ・異常を感じた場合は直ちに使用を中止し、ご購入の販売店または整備工場に相談すること。

- 車両のメインキーが ON の状態、またはエンジン回転中ロバッテリーケーブル、その他電装品の結線ははずさない。破損、発熱、発火、故障の原因となります。

- エンジン停止状態で接続機器を使用しない

バッテリーあがりの原因となります。

- 落下しやすい場所、ほごりの多い場所に置かない

破損すると発熱、発火、感電、故障などの原因となります。

- 0～45℃の範囲で使用する

この範囲外での温度での使用は、破損、短絡、発熱、発火、故障の原因となります。

- 無理な力をかけない

変形して、破損、短絡、発熱、発火、故障の原因となります。

- 余った接続ケーブルは車両内で適切に処理すること

余ったケーブルが車外に出ると、車輪やチェーンに干渉し転倒の可能性があります。また転倒によりケーブルが破損した場合、ケーブルがフレームと干渉し、短絡、発熱、発火、故障の原因となります。

- 本製品とジャケット、グローブを接続したまま車両から離れないこと

本製品に無理な力がかかった結果、車両が転倒し、破損、けがの原因となります。

- 車両バッテリー端子の取り付けボルトは車両メーカー規定のトルクで締め付けること

ボルトの締め付けが緩いと、走行中の振動や衝撃が加わることでターミナルの浮きが発生し、ターミナルとバッテリーポストの間でスパークが発生し、バッテリー端子に塗布されたグリースやターミナルカバーに引火する原因となります。

- 1カ月以上使用しない場合は本製品を取り外すこと

変形して、発熱、発火、故障の原因となります。




- 乗車前に毎回バッテリーターミナルとケーブルに異常がないか点検する

ケーブルの接続が緩む、または、変形、変色、亀裂があると発熱、発火、故障の原因となります。

安全上のご注意

安全にご使用いただくために必ずお守りください。

誤った使い方をしたときに生ずる危害や損害の程度を説明しています。




 危険	死亡や重傷*1を負うおそれ大きい内容です。
 警告	死亡や重傷を負うおそれがある内容です。
 注意	軽傷*2を負うことや、財産の損害*3が発生するおそれがある内容です。

*1重傷とは、失明やけが、やけど、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院や長期の通院を要するものを示します。

*2軽傷とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが、やけど、感電を示します。

*3財産の損害とは、家屋、家財および家畜、ペットにかかわる拡大損害を示します。

お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

	注意喚起を促す内容があることを告げる図記号です
	禁止の行為を告げる図記号です。
	行為を強制したり、指示したりする内容を告げる図記号です。

危険

低温やけどに注意

発熱機能は寒冷な環境でのみお使いください。暖かい室内環境で発熱機能を起動した場合、グローブ内の温度が必要以上に高くなり手を加熱し過ぎることがあります。手が汗ばんだり暑くなり過ぎた場合は発熱機能を停止してください。発熱モードに関わらず長時間使用すると低温やけどの可能性あります。低温やけどは比較的低い温度(40℃～60℃)でも長時間一か所に熱が伝わり続けると、熱い、痛いという自覚症状なしで起こります。本製品を外気温が20℃以上または屋内で絶対に使用しないでください。本製品のご使用中は定期的に手や指の状態を確認してください。手や指に異常を感じた場合はすみやかに本製品の使用を中止してください、手や指に外観上の異常や痛みがある場合はすぐに医師の診察を受けてください。

危険

説明書熟読

誤った扱いをすると車両損傷、死亡または失明やけがなど重大な障害に至る原因となります。

分解、改造、修理、折り曲げをしない

発熱、発火、感電、故障、けがの原因となります。

指定の製品以外を接続しない

発熱、発火、感電、故障、けがの原因となります。

水に濡らさない

水、海水、ジュースなどの液体が入ると、内部短絡して、故障、発熱、発火、けがの原因となります。

ヒューズ、プラグを濡らさない

発熱、感電、故障、発火、けがなどの原因となります。

車両バッテリーおよび本製品の端子を短絡させない

金属製のネックレスやヘアピン、ボルト、ナット、アースされた車両フレーム等が触れないようにしてください。短絡して、故障、発熱、発火、けがの原因となります。

入力と出力を逆に接続しない

短絡して、故障、発熱、発火、けがの原因となります。

高温の場所で保管、使用しない

炎天下の車内、火のそば、ストーブのそば、エンジンやマフラーのそば、直射日光の強い場所など高温になる場所に置かないでください。変形、故障、やけどの原因となります。

接続端子の脱着には端子部分を持ち確実に行う

ケーブル内部の短絡、断線、発熱、発火、けがの原因となります

接続端子側のケーブルは適切な距離を保てるようにプラスとマイナスを割いて処理すること

接続端子側のケーブルはプラスとマイナスを適当に割いて使用します。車両バッテリーに接続したプラスとマイナスのケーブルは絶対に交差させないでください。ケーブルが振動などで被膜が傷つくとフレームと干渉し、短絡、発熱、発火、故障の原因となります。

ケーブルは車両内で適切に処理すること

ケーブルの被膜が破損した結果、ケーブルがフレームと干渉し、短絡、発熱、発火、故障の原因となります。